



所沢市議会議員

VOL 94 令和7年10月号

だれ一人見捨てない政治。



赤川ようじの 市政レポート

〒359-1151 埼玉県所沢市若狭3-2383-25

TEL:04-2947-3965 FAX:04-2947-3966 メール:tokorozawa@y-akagawa.jp

赤川ようじ公式ホームページ

y-akagawa.jp



9月議会報告

水道料金大幅値上げに反対しました。

来年4月から所沢市の水道下水道料金の値上げをする「所沢市水道給水条例」及び「所沢市下水条例」の改正案が議会で賛成多数で可決されました。この改正で水道料金24.2%、下水道金15.0%値上げになります。一般的家庭では月937円の値上げになります。所沢市では水道料金の改定は28年ぶりです。値上げの理由は市が県から買っている県水の値上げと物価高、そしてこれからの設備改修のためとされていますが、28年間値上げしないで一挙に値上げする事には疑問が残ります。「所沢の水は地下水も入って安くて旨い」というが売りでした。水は命を支えるもので、物価高騰の折、他の物のように買い控えることができません。水道事業は市民の命に係わる事業です。物価高の折、ある程度の値上げは仕方ありませんが、もう少し段階的計画的に改訂を行う事と市民への説明が不十分である事を理由にこの議案には反対しました。議会では賛成多数で可決されましたが、来年の4月に向けて今後市民には丁寧な説明をしていくとのことですが、30年間続く不景気、コロナショック、天井を知らない物価高の中、日本だけがそれに見合う給料年金が上がっていません。積極財政で景気の底上げを今行っていかなければならない時公共料金の大幅値上げは市民生活を圧迫するものです。最後に市長にもし、「所沢を日本一のまちにする」のならず、埼玉県63自治体の中で所沢市は7番目に水道料金が安いとされていますが、値上げをここで踏み留まって「日本一水の安いまち所沢」を目指してもらいたかったと述べさせていただきました。これからも市民生活を守るため発言していきます。

戦後80年所沢市の平和事業とは

一般質問

今年は昭和100年戦後80年の節目の年です。今年初めて広島原爆記念日の8月6日に所沢市役所の被爆敷石の前で「所沢市平和祈念式」を実施しました。この被爆敷石は昭和59年に広島市から所沢市に贈られたものでその前でこれから毎年平和祈念式を行う思いと戦後80年の節目となる本年、「所沢市平和都市宣言」を踏まえ小野塚市長に市長としての平和への誓いを聞きました。市長は「80年前の戦争では多くの尊い命が犠牲になり、今も世界では戦争が行われ、尊い命が失われている。所沢市平和都市宣言にあるように、戦争という過ちを二度と起こさない気持ちを込め、これから被爆敷石の前で毎年8月6日、平和祈念式を行うことで、今を生きる私たちはもちろん次世代の方々に平和の大切さをしっかりと継承していきたい」との答弁でした。これも所沢から平和を発信していきます。



障害者の就労支援について

今年10月より、障害福祉サービスにおける新たな支援制度として「就労選択支援」が始まります。この制度は就労継続支援B型をはじめとする障がい者の就労支援サービスを選択するため、アセスメントを行い、就労を戸惑う方を就労継続支援B型、労働契約を結ぶA型また場合により一般就労の道を切り開く機会になる事が期待されています。しかし今のところこの事業を行おうとする事業者ほとんどなく、市がこれからどのように支援をしていくのか質しました。やはり、この制度は事業者への負担が重く、国としての制度設計に問題があります。この背後には日本は「障害者権利条約」に批准はしたものの障がい者の就労は基本的人権であるとの認識が不足しており、障がい者の通勤に公的介護が使えないのもその現れだと思います。これからも障がい者の基本的人権を訴えていきます。

市政報告会のご案内

日 時 2025年10月5日(日) 午後2時～

会 場 狭山ヶ丘コミュニティセンター2F 集会室



赤川ようじの市政ホットライン 04-2948-8899